

# はいいろ 灰色かび病<sup>びょう</sup>

病原菌名 *Botrytis cinerea*

発生条件

20℃前後で多湿が続くときに激発しやすい。施設栽培で発生が多い。



葉の発病

古い花卉の付着した場所や傷害を受けた部位で発病が多い。



茎の発病

摘心部位や葉かき跡などの傷痕から茎に感染するとその上位はしおれ、枯死することがある。



果実発病

幼果では、花卉やガク枯れ部に灰褐色のカビが発生し、しだいに幼果に広がり、軟化腐敗する。多発時には、幼果表面に2～3mmのゴーストスポットと呼ばれる白いリング状の斑点が生じることがある。